

答 弁 本年度当初予算

は、昨年度入所の2世帯と、もう1世帯の余裕を見て、3世帯分としたが、4月の時点で新たに2世帯の入所があり、予算が足りなくなった。母子生活支援施設へ入所される多くが何らかのDVを抱えている。

後期高齢者医療特別会計補正予算

補正額 294万6千円
総 額 6億7千927万4千円

介護保険特別会計補正予算〈保険事業勘定〉

補正額 2千570万8千円
総 額 40億8千252万8千円

公共下水道事業特別会計補正予算

補正額 190万円
総 額 17億5千210万2千円

平成24年度決算認定

一般会計

質 疑 雀ヶ森処分場の環境調査について、その後の状況と今後については。

答 弁 4月以降、随時周辺地下水のモニタリングの調査を行う。ヒ素は、7月に南側の井戸3カ所で検査した。今回は10月ごろに検査を予定している。

雀ヶ森最終処分場の南側、北側各1カ所のヒ素を含む、約30項目の地下水検査も年1回、11月ごろに予定。最終処分場の最終的な閉鎖に関して、海部県民センター環境保全課と協議を重ね、最終処分場のごみの成分調査、南側の地下水から検出されているヒ素との因果関係を含

め、専門業者に調査内容、費用について相談している。

質 疑 2年続けて基準財政収入額が減り、その結果、地方交付税が増えている。基準財政収入額が減っている原因は。

答 弁 固定資産税の評価がえによる収収減が主な要因だ。

土地取得特別会計

質 疑 実際には基金の土地部分は、今の価格にするとほとんどないに近い状況だ。将来的に閉じるとい見解だが、いつどのような手法で進めるのか。

答 弁 平成25年度中に基金は廃止をしたい。利息の取り扱い方を研究している。

国民健康保険特別会計

質 疑 八開診療所のここ数年の決算状況は。利用者の増減の傾向は。

答 弁 平成20年度はマイナス1千958万円、21年度はマイナス2千571万円、22年度はマイナス1千42万円、23年度はマイナス995万円、24年度はマイナス1千401万円と単年度収支はマイナスが続いている。利用者は、21年度と24年度に、それ以外の年度に比べ少し減少している。

同 意

公平委員会委員

平野 曜一 氏(名古屋市の選任に同意しました)

推 薦

人権擁護委員候補者

近藤 裕重 氏(西保町)
山田 善照 氏(町方町)を適任としました。

